

北朝鮮政府の核実験強行に抗議する

2006年10月10日 日本平和委員会

北朝鮮政府が9日、核実験を強行したと発表したことに断固として抗議する。これは、実験の強行を「国際的な平和と安全に対する明確な脅威」となるとして中止を求めた全会一致の国連安保理議長声明はじめ、国際社会の声を無視するものである。また、朝鮮半島の非核化をめざす「6カ国協議」合意や「日朝平壤宣言」などの一連の国際的約束にも反するものである。

北朝鮮政府当局者は、今後も追加核実験を行なうなどと発言している。このような暴挙はただちにやめるべきである。我々は、北朝鮮政府に対し、核兵器及び核兵器開発計画を放棄すること、即時・無条件で6カ国協議に復帰することを強く求めるものである。

国際社会は、この事態の平和的・外交的解決のために、一致協力して対応すべきである。日本政府の一部からは、早くも「軍事的制裁も結果としてありうる」などという発言が現れている。軍事的対応は決してとってはならない。それは計り知れない惨劇を生み出すだけである。また、この事態を基地強化や日米軍事同盟の侵略的強化に利用してはならない。それはこの地域の緊張をいっそう高め、問題解決を困難にするだけである。あくまでも平和的・外交的に問題を解決するために全力をあげるべきである。

6カ国協議に関わるすべての国が事態の平和的解決と朝鮮半島の非核化のために粘り強く努力すること、さらに核保有国をはじめ世界のすべての国が核兵器拡散の脅威をなくすために、核兵器全面禁止条約の締結に向けてすみやかな交渉を行うよう求めるものである。